

所 属	農政部 畜産課		
担当(係)名	酪農肉用牛担当	内線	2877

「飛驒牛」の増産を目指した取組みの推進

1 背景・現状

「飛驒牛^{ひたぎゅう}」は、その約7割が県外で生まれた子牛を購入して県内で肥育されたものであり、産地間競争が激化する中、資質に優れた県内産の子牛を肥育した「岐阜県生まれ、岐阜県育ちの飛驒牛」を増産することが重要な課題となっている。

一方、優秀な能力を有すると思われる雌子牛は、子牛市場に上場されると、高値で県外の者に購入され、他県の種雄牛の造成や銘柄牛の生産に利用されるため、優秀な遺伝資源である岐阜県産の和牛子牛の流出を防ぐことが、「飛驒牛」の品質を維持する上で重要となっている。

2 事業目的

ぎふ農業・農村振興ビジョンに掲げた「繁殖雌牛1万頭」を目標に優秀な子牛生産に必要な雌牛を増やすとともに、優秀な飼養管理技術を普及し、より安定的に高品質な「飛驒牛」を生産できる体制を整える。

また、5年に1度開催される「和牛のオリンピック」とも言われる全国和牛能力共進会において、優秀な成績を収めることで、岐阜県の和牛の改良成果などを全国にPRし、「飛驒牛」の銘柄化を推進する。

3 事業概要

平成20年度に県が補助し、社団法人 岐阜県畜産協会に造成した飛驒牛増産プロジェクト事業基金を活用した取組みの推進を指導する。

【平成20年度基金造成額】110,000千円<地域活性化・生活対策臨時交付金事業>

【取崩額】 H21年度:23,505千円(見込み)、H22年度:24,455千円

【基金活用の内容】

牛づくり：優秀な雌子牛が県外に流出しないよう、保留を行う取組みに対し支援

<事業主体>市町村、農協

<補助金及び補助率>117千円/頭、補助率1/4

<事業対象頭数>190頭

人づくり：優秀な繁殖雌牛の保留を推進するための審査に必要な技術の勉強会等の開催に対し支援

物づくり：第10回全国和牛能力共進会に向けた種牛の育成技術をレベルアップするための研修会及び肥育技術研鑽のための枝肉研究会の開催などの出品対策に対し支援